【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成29年１月26日
【会社名】	株式会社ネクスグループ
【英訳名】	NCXX Group Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　秋山　司
【本店の所在の場所】	岩手県花巻市椚ノ目第２地割32番地１
【電話番号】	0198-27-2851（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長　齊藤　洋介
【最寄りの連絡場所】	東京都港区南青山五丁目４番30号
【電話番号】	03-5766-9870
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長　齊藤　洋介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

１【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

２【報告内容】

１．売上原価の増加

(1) 平成28年７月14日発生分

①当該事象の発生年月日

平成28年７月14日

②当該事象の内容

連結子会社の株式会社ネクスにおいて、前期より一部顧客との間で延伸になっております受託開発案件の製品仕掛について、保守的に見直しを行い、棚卸資産を減じた事により製造原価が168百万円増加しました。

③当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成28年11月期の連結決算に製造原価168百万円を売上原価として計上いたしました。

(2) 平成28年10月14日発生分

①当該事象の発生年月日

平成28年10月14日

②当該事象の内容

連結子会社の株式会社ネクスにおいて、前期より一部顧客との間で延伸になっております受託開発案件の製品仕掛について、保守的に見直しを行い、棚卸資産を減じた事により製造原価が160百万円増加しました。

③当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成28年11月期の連結決算に製造原価160百万円を売上原価として計上いたしました。

２．特別損失の計上

(1) 当該事象の発生年月日

平成29年１月19日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社の連結子会社の株式会社チチカカにおいて、各店舗の採算性を再度厳格に評価し、不採算となりうる可能性の高い店舗を新たに18店舗抽出しました。当該店舗につきましては、再建に向け分析検証ならびに体制再構築を進めておりますが、現段階では再建に向けての不確実性がまだ高いことから、期中に退店決定した店舗も含め合わせて320百万円の減損損失として評価減を計上いたしました。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成28年11月期の連結決算に減損損失320百万円を特別損失として計上いたしました。

以　上